

西予は大地の博物館 ②

西予ジオパーク構想

本市には、数多くの自然遺産や文化遺産などが残されていますが、それらの背景にある地形や地層にも誇るべきものが数多く存在しています。

これらの多様な地域資源を教育や観光、地域活動などと有機的に結び付け、地域の宝としてまちづくりに最大限に生かす活動が「西予ジオパーク構想」です。今回は、まだ始まったばかりのこの構想について、概要を紹介します。

ジオパークとは何ですか

「ジオ」には地球や大地、地形、地質といった意味があります。

ジオパークとは、地球の活動と人の暮らしのかかわりについて楽しく学び、体験することができる「大地の公園」のことです。



何をするといい?

ジオパークでは、貴重な地域遺産が保護され、大地と人間の関係を理解する場所として整備されており、多くの人々がその地域ならではの自然や歴史、文化、食などに触れることができます。

ひとつでいいこと?

きれいな景色を眺めて自然の中を歩き、地元のおいしい物を食べて「地球の仕組みと人の関係」に気付く場所です。

どうすれば

ジオパークになれますか

現在のところ、国内にジオパークは14地域しかありません。ジオパークを名乗るためには、日本ジオパーク委員会の認定を受ける必



要があり、それには数多くの審査基準を満たさなければなりません。その中でも最も重要なことは、市民の皆さんのジオパーク推進への理解と、地域資源の活用に対する意識の高まりです。

西予市が認定される

可能性はありますか

海拔0mから1,400mの標高差を持つ本市には、地質遺産や歴史・文化遺産、生態系の多様性など、ジオパークの資源として素晴らしいものが多数存在しています。

その中でも、九州から四国、紀伊半島を経て関東まで点々と連なる、今から4億5千万年ほど前の日本最古級の地層「黒瀬川構造帯」は、旧城川町の前身で

ある黒瀬川村から名付けられた本市ゆかりの地質帯です。いまだに解明されていない日本列島の成り立ちを探るためには、欠かすことのできない重要な地層です。

また、貴重な地形や動植物が残されている四国カルスト、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された「卯之町の町並み」に加えて多数の遺跡や古墳が分布している宇和盆地、リアス式海岸と段々畑が織りなす三瓶や明浜の素晴らしい景観、そして、大切に保存伝承されてきた伝統文化など市内各地には「地域の宝」が数多く残されています。これらを市民みんなで再発見して、「ジオ」の面白



今年度の計画は?

次のような活動を進めていきます。

- ① 日本ジオパーク認定を目指す地域として、公に活動でき、ホームページなどで情報発信を可能にするための条件整備
- ② 市民向けのジオパーク啓発と学習活動
- ③ 他のジオパーク地域との情報交換などを通じた推進方法の研究
- ④ 研究者や学識経験者などによる支援体制の構築
- ⑤ 市内のジオパーク資源の調査

もっと詳しく知りたい

という方へ

地域や各種団体の皆さん向けに、出前講座を開催しています。20〜30分程度で、ジオパーク構想についてスライドを用いて分かりやすく説明します。お気軽に声を掛けてください。

問い合わせ

市役所商工観光課

08964(02)64008